

住みよい環境づくりを目指します

エコアクション21 環境活動レポート
活動期間(2010年4月1日～2011年3月31日)
2011年6月1日発行



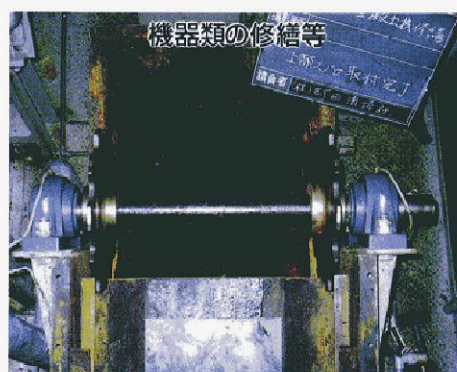
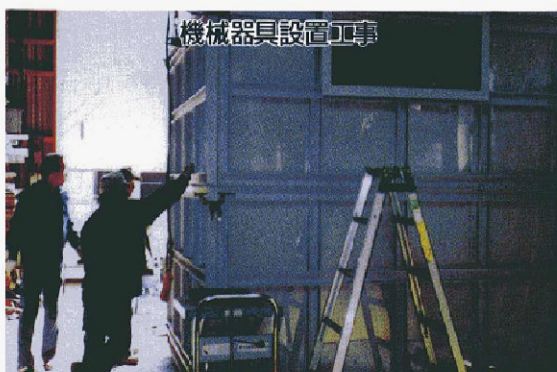
生活環境の向上を目指す

Ⓢ 株式会社 町田清掃社

〒194-0036 東京都町田市木曾東二丁目6番18号

☎042-722-1973(代表)

作業説明



目次	頁
1. 環境方針	1
2. 環境活動指針	1
3. 事業概要	2
4. 環境活動実施体制	3
5. 許可・登録一覧表	4
6. 廃棄物収集運搬量	4
7. 廃棄物処理料金	4
8. 保有車輛リスト	5
9. 環境負荷グラフ	6
10. 環境目標	8
11. 活動写真	1 1
12. 環境活動計画と取組判定	1 2
13. 代表者による全体の評価・見直し	1 4
14. 是正計画・処置報告書	1 5
15. 環境関連法規への違反訴訟等の有無	1 6

1) 環境方針

昭和41年6月創立以来、一般廃棄物の収集運搬を中心として、「生活環境の向上」を目指し、また近年は、廃棄物の有効利用やリサイクル等、環境問題に対応すべく、業務の整備を図って参りました。

しかし、今や環境問題は、わが国のみならず、地球的規模で未来に向けての最大のテーマになっています。

弊社は、環境行政事業に携わる者の使命として、事業活動において、法規制を遵守するとともに、積極的に環境保全活動に取り組むことを全従業員に周知し、一人一人が自主的かつ継続的に、環境負荷の低減に向けた活動を行なって参ります。

2) 環境活動指針

1. 省エネルギーの推進

エコドライブの実践による省エネと排気ガスの抑制をはじめ、すべての事業活動において、電力消費量の削減及び節水に取り組み、CO₂排出量を低減することにより、大気汚染の防止・地球温暖化の防止等に貢献できる環境活動を推進する。

2. 廃棄物の削減及び再利用の促進

自社及び現場から発生する廃棄物の抑制と分別による再利用化の徹底に努め、可燃ごみの減少・再資源再利用化等に貢献できる環境活動を推進する。

3. 環境に配慮したサービスの推進

グリーン購入を推進する。また、収集運搬業及び建設業、清掃業をはじめ、すべての事業において、悪臭の防止・騒音の防止等、環境に配慮したサービスを推進する。

4. 法規制等の遵守

環境関連法規制をはじめ、事業に関連する全ての法規制および契約事項を遵守する。

5. 継続的な環境負荷の削減

環境負荷の削減を継続的に行ない、持続可能な社会の実現に向けた環境活動を推進する。

平成22年4月1日

東京都町田市木曽東二丁目6番18号

株式会社 町田清掃社

代表取締役

中溝次郎

3) 事業概要

事業者名：株式会社 町田清掃社
代表者名：代表取締役 中溝 次郎
所在地：東京都町田市木曽東二丁目6番18号
環境責任者：施設部部长 田中 輝紀
連絡先：Tel042-722-1973 Fax042-727-8634
e-mail tanaka@matisei.co.jp
設立：昭和41年6月1日
資本金：1460万円
事業内容：収集業部門（一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬）
工事部門（土木一式・管・機械器具設置・水道施設）
清掃部門（道路関係・排水管渠・飲料水貯水槽）
管理部門（污水处理施設・浄化槽保守点検）
工業薬品販売部門（脱臭剤等）
特定労働者派遣業

【主な事業実績】 2010年4月～2011年3月実績

- ◆廃棄物収集運搬部門(売上約240百万)
 - 一般廃棄物収集運搬
し尿・浄化槽汚泥・一般可燃ごみ 27909 t
 - 産業廃棄物収集運搬 1597 t
- ◆建設業清掃業部門(売上約489百万)
 - 建設業 49件
 - 清掃業 322件
- ◆サービス業部門(売上約681百万)
- ◆全社(売上約1505百万)

全従業員数：127名（2011年4月）

※1
本社延べ床面積：912㎡ 橋本工場延べ床面積：304㎡

【認証登録している事業場】

本社（東京都町田市木曽東二丁目6番18号）

【平成23年度に認証対象範囲を予定する事業場】

- ◆以下の町田市公共施設内業務においては、市運営下での業務のため、現状対象範囲からは除外しているが、当社が負担している環境負荷については、平成22年4月より対象範囲とし、環境活動に取り組んでいる。
 - ：成瀬クリーンセンター下水処理場 東京都町田市南成瀬8-1-1
 - ：鶴見川クリーンセンター下水処理場 東京都町田市三輪緑山1-1
 - ：町田リサイクル文化センター 東京都町田市下小山田町3160

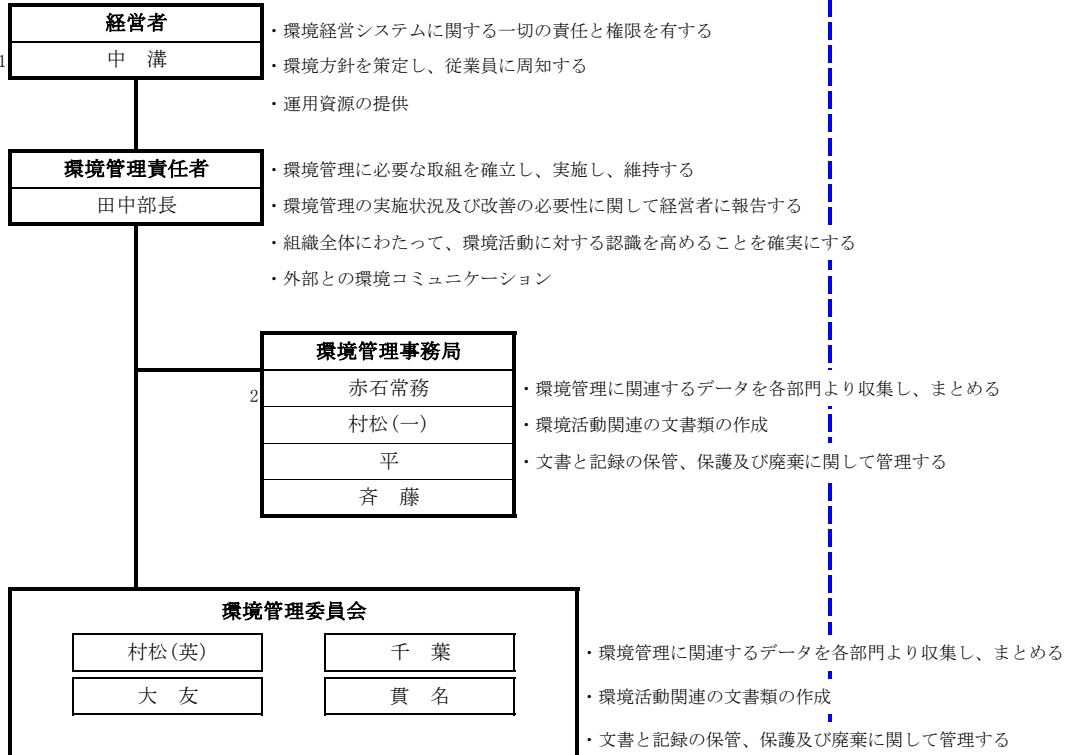
【対象範囲から除外している事業場】

- ※1 橋本工場(神奈川県相模原市橋本台1-14-13)
脱臭剤の製造所であるが、稼動していないため除外。平成24年4月より対象範囲とする予定。

愛川リサイクル工場（神奈川県愛甲郡愛川町中津6903-1）
共同事業による生ゴミ堆肥化工場で、ISO14001認証により環境活動に取り組んでいる。

4) 環境活動実施体制図

【認定範囲人員119名】



本 社 (50名)					町田市公共施設 (67名)				
廃棄物収集運搬業		建設業清掃業			その他事務職 (経理)・パート	サービス業			
収運業務部一課 (し尿収集運搬)	収運業務部二課 (浄化槽清掃)	環境整備部収集課 (廃棄物収集運搬)	環境整備部工事・営業課 (清掃業等)	水理管理部水理課 (管工事等)		水理管理部水理課 (町田リサイクル文化センター)	下水道施設部施設課 (鶴見川クリーンセンター下水処理場)	下水道施設部施設課 (成瀬クリーンセンター下水処理場)	下水道施設部工務課 (成瀬クリーンセンター管路維持管理)
要員 8名	要員 8名	要員 17名	要員 6名	要員 7名	要員 4名	要員 12名	要員 18名	要員 26名	要員 11名
(うち各課推進者1名選任)									

その他事業場

アニコ事業部	
リサイクル	
橋本工場 (平成24年4月対象範囲予定)	愛川リサイクル工場 (ISO14001認証)
要員 2名	要員 6名

・取組事項を確実に実行する

・環境管理委員を補佐する
・環境管理に関するデータをまとめる

5) 許可・登録一覧表

平成23年 10月25日現在

許可	許可番号	許可日	許可有効期限	収集廃棄物種類
一般廃棄物処理業(収集運搬)	町田市一廃第27号	平成20年04月01日	平成24年03月31日	紙類・厨芥類・雑芥・浄化槽等汚泥・特定家庭用機器廃棄物
産業廃棄物収集運搬業	東京都第13-00-37650号	平成23年04月04日	平成28年04月03日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県第1402037650号	平成23年05月20日	平成28年04月23日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、金属くず、ガラスくず、がれき類
産業廃棄物収集運搬業	埼玉県第01101037650号	平成23年02月03日	平成27年12月12日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
浄化槽清掃業	町田市浄清第2号	平成20年04月01日	平成24年03月31日	
浄化槽保守点検業者	東京都浄保(7)第56号	平成19年12月23日	平成24年12月22日	
浄化槽保守点検業者	八王子市八浄保第19-50号	平成19年12月23日	平成24年12月22日	
一般建設業(管工事)	東京都(般-23)第136962号	平成23年07月20日	平成28年07月19日	
建築物飲料水貯水槽清掃業	東京都56貯第119号	平成23年06月19日	平成29年06月18日	
建築物排水管清掃業	東京都15排第37号	平成21年02月09日	平成27年02月23日	
毒物劇物(一般)販売業	町田市第3132000081号	平成18年10月15日	平成24年10月14日	
東京都指定給水装置工事事業者	第8497号	平成23年10月25日		
指定作業場所設置 (廃棄物の積替え場所又は保管場所、ガソリンスタンド、自動車洗車場)	町田市第1457号	平成21年10月06日		

6) 廃棄物収集運搬量

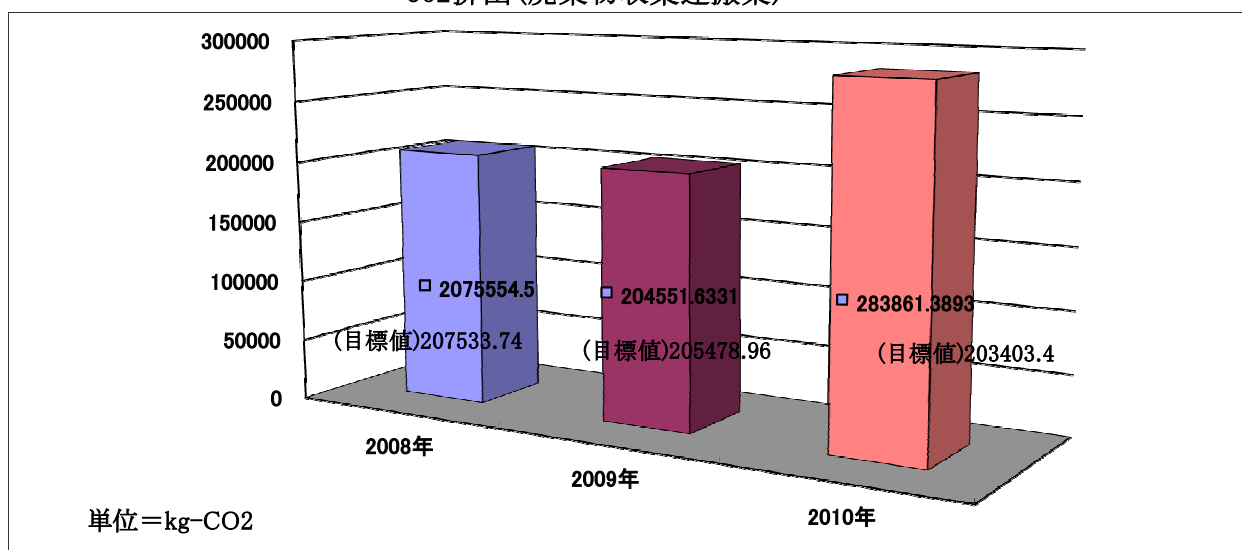
区分	種類	2007年度(t)	2008年度(t)	2009年度(t)	2010年度(t)
一般廃棄物	し尿、浄化槽汚泥、一般家庭ごみ	23635	22752	19976	27909
産業廃棄物	汚泥、金属くず、廃プラ、ガラス等	1166	1333	1035	1598

7) 廃棄物処理料金

取扱品目、運搬距離等を勘案して、都度お見積りによる。

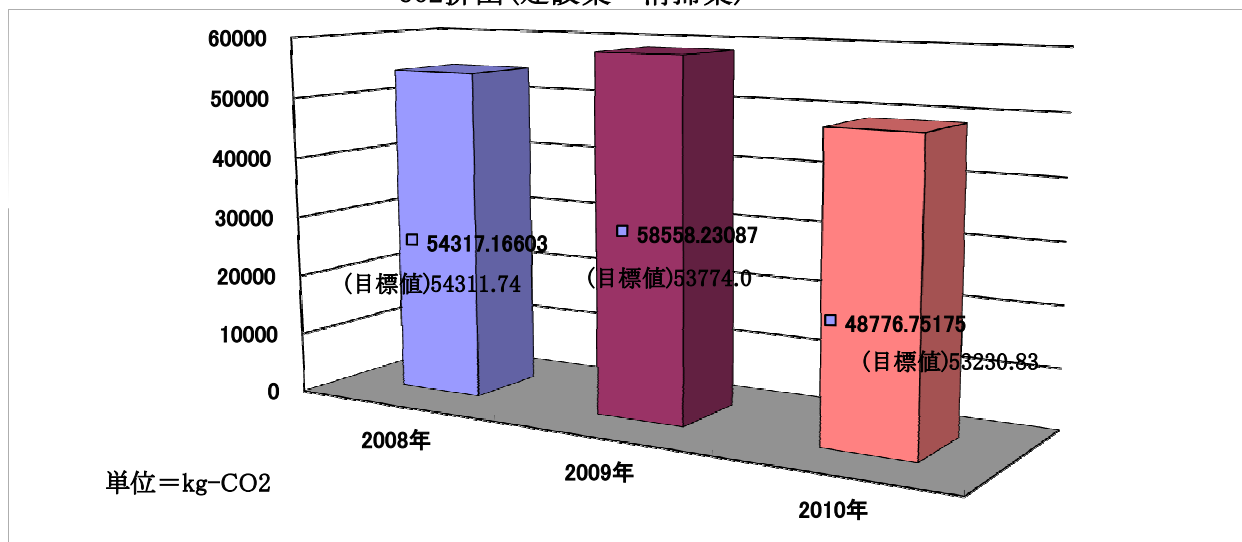
9)【環境負荷実績】

C02排出(廃棄物収集運搬業)



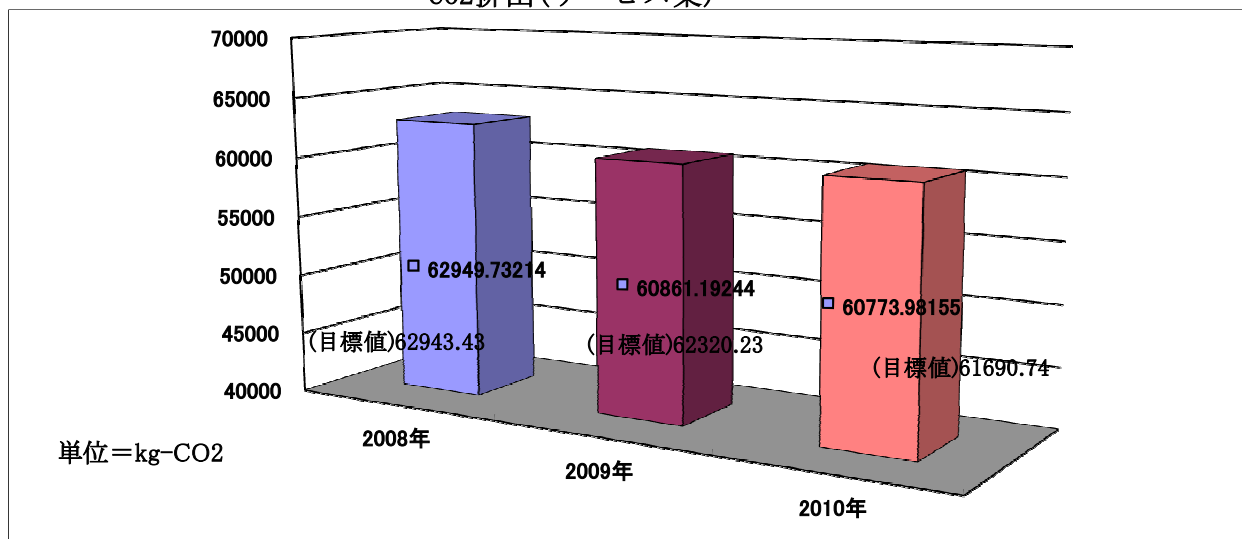
今年度から開始の新業務(一般家庭ごみ収集業務)で車両7台増車のため、廃棄物収集運搬業部門の二酸化炭素排出量は、昨年度比(+38.8%)となった。

C02排出(建設業・清掃業)



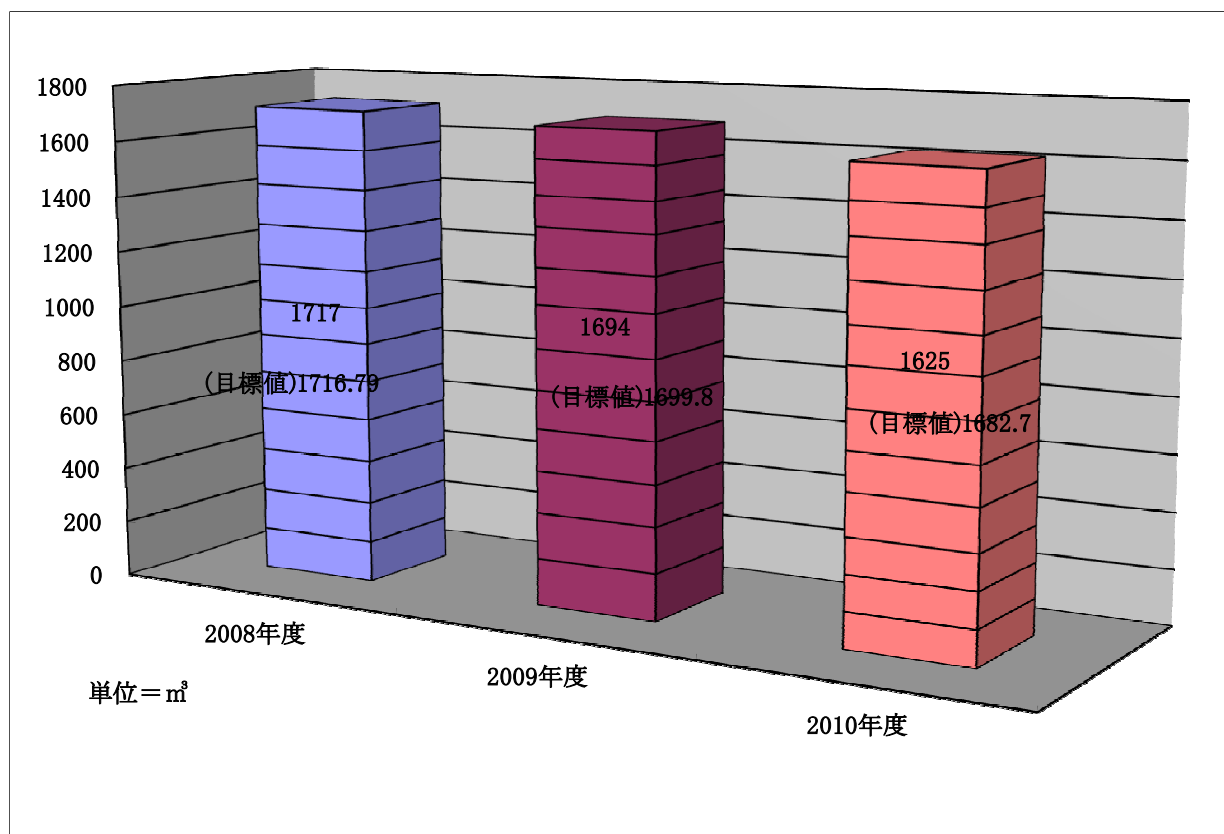
建設業清掃業部門の二酸化炭素排出量は、昨年度比(-16.7%)の成果となった。

C02排出(サービス業)



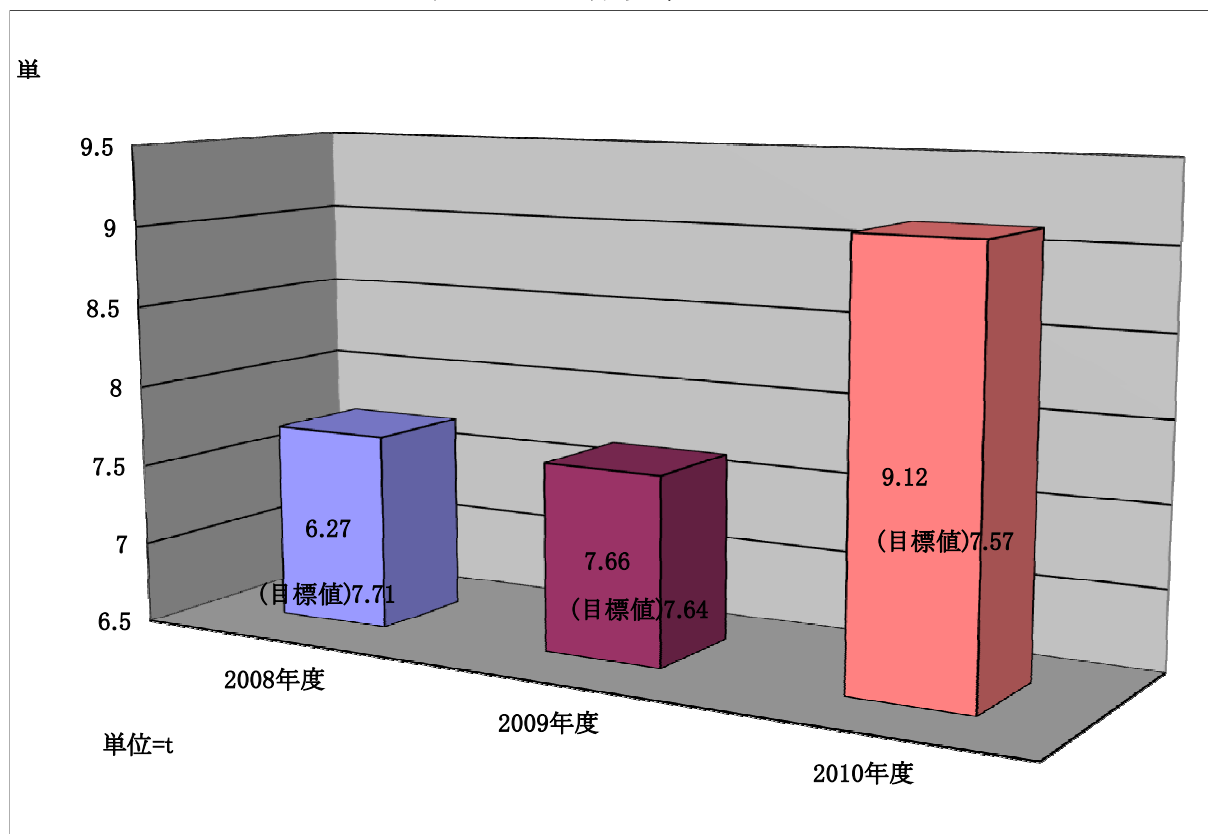
サービス業部門の二酸化炭素排出量は、昨年度比(-0.14%)で、ほぼ横ばいであった。

水道消費量



廃棄物収集運搬部門で12名増員にも関わらず、総排水量は16250で目標の16820をクリアーできた。

自社からの産業廃棄物量



自社発生廃棄物の排出量は今年度は9.12tで増加したが、12名増員で一人当たりで換算すると昨年度0.23t/人に対し、今年度は一人当たり0.20t/人と減少している。

10) 環境目標

1. 二酸化炭素排出量の削減目標
2. 廃棄物排出量の削減目標
3. 総排水量の削減目標
4. コピー用紙使用量の削減目標
5. グリーン購入の目標
6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮の目標

※今期より廃棄物収集業部門で新規業務が加わったため、廃棄物収集業部門の目標値を変更しました。

また、サービス業も対象範囲としたことから、下表の各項目基準値は環境活動初年度(2008年度)実績を基準値としました。

※サービス業(町田市公共施設内業務)においては、市運営下のため、主観的な環境活動の取組は出来ず、移動用車両の燃料使用量削減及びコピー用紙使用量削減に限り、当社環境活動の範囲としています。

1. 二酸化炭素排出量の削減目標

※購入電力の排出係数は0.324(kg-CO2/kWh)

区分	基準値(2008年度実績) kg-CO2	項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
			基準値の1%削減	基準値の2%削減	基準値の3%削減	基準値の4%削減	基準値の5%削減	
二酸化炭素排出量の削減目標	324821.40	目標値	321573.19 以下	318324.97 以下	315076.76 以下	311828.54 以下	308580.33 以下	
		実績値	323971.05	393412.12				
		内訳(既存業務)	323971.05	297321.49				
		内訳(新規業務)		96090.63				
		kg-CO2/百万	236.47	289.38				
内 訳	廃棄物収集業部門 (業務一課・業務二課・収集課)	207554.50	目標値	205478.96 以下	203403.41 以下	201327.87 以下	199252.32 以下	197176.78 以下
		実績値	204551.63	283861.39				
		内訳(既存業務)	204551.63	187770.76				
		内訳(新規業務)		96090.63				
		kg-CO2/百万	853.21	1183.03				
	建設業及び清掃業部門 (水理課・工事課)	54317.17	目標値	53774.00 以下	53230.83 以下	52687.65 以下	52144.48 以下	51601.31 以下
		実績値	58558.23	48776.75				
		kg-CO2/百万	126.8	99.78				
	サービス業 (町田市公共施設内業務)	62949.73	目標値	62320.23 以下	61690.74 以下	61061.24 以下	60431.74 以下	59802.24 以下
		実績値	60861.19	60773.98				
		kg-CO2/百万	89.28	89.29				

【2010年度結果】 廃棄物収集業部門で2010年度から開始の新業務(一般家庭ごみ収集業務)で車輛7台増車のため、二酸化炭素排出量が393412.12kg-CO2となったが、新業務で発生した二酸化炭素排出量を除いた場合、合計値で297321.49kg-CO2となり、目標値は達成できている。

2. 自社発生の廃棄物の削減目標

区分	基準値(2008年度実績) (t)	項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
			基準値の1%削減	基準値の2%削減	基準値の3%削減	基準値の4%削減	基準値の5%削減
自社発生の廃棄物の削減目標	7.72	目標値	7.64 以下	7.57 以下	7.49 以下	7.41 以下	7.33 以下
		実績値	7.66	9.12			
		一人当たり	0.23 (34名)	0.20 (46名)			
内 訳	廃棄物収集業部門 (業務一課・業務二課・収集課)	目標値	5.63 以下	5.58 以下	5.52 以下	5.46 以下	5.41 以下
		実績値	5.65	6.76			
	建設業及び清掃業部門 (水理課・工事課)	目標値	2.01 以下	1.99 以下	1.97 以下	1.95 以下	1.93 以下
		実績値	2.01	2.36			

【2010年度結果】 廃棄物収集業部門(一般家庭ごみ収集業務)で12名の作業員増員となり、昨年度と比較して自社廃棄物量は増えたが、1人当たりに換算すると削減できている。

3. 総排水量の削減目標

区分	基準値(2008年度実績) (m ³)	項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
			基準値の1%削減	基準値の2%削減	基準値の3%削減	基準値の4%削減	基準値の5%削減
総排水量の削減目標	1717.0	目標値	1699.8 以下	1682.7 以下	1665.5 以下	1648.3 以下	1631.2 以下
		実績値	1694.0	1625.7			
		一人当たり	49.82 (34名)	35.34 (46名)			
内 訳	廃棄物収集業部門 (業務一課・業務二課・収集課)	目標値	1149.9 以下	1138.3 以下	1126.7 以下	1115.0 以下	1103.4 以下
		実績値	1145.9	1166.3			
	建設業及び清掃業部門 (水理課・工事課)	目標値	549.9 以下	544.4 以下	538.8 以下	533.3 以下	527.7 以下
		実績値	548.1	459.4			

【2010年度結果】 廃棄物収集業部門で12名増員にも係らず、総排水量では昨年度より削減できている。

4. コピー用紙使用量の削減目標

区分	基準値(2008年度実績) (kg)	項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
			基準値の1%削減	基準値の2%削減	基準値の3%削減	基準値の4%削減	基準値の5%削減	
コピー用紙使用量の削減目標	743.12	目標値	735.69 以下	728.26 以下	720.83 以下	713.40 以下	705.96 以下	
		実績値	812.40	817.28				
		kg/百万	1.70	0.58				
内 訳	廃棄物収集業部門 (業務一課・業務二課・収集課)	463.41	目標値	458.78 以下	454.14 以下	449.51 以下	444.87 以下	440.24 以下
		実績値	453.18	548.26				
		kg/百万	1.89	2.28				
	建設業及び清掃業部門 (水理課・工事課)	221.63	目標値	219.41 以下	217.20 以下	214.98 以下	212.76 以下	210.55 以下
		実績値	216.74	215.98				
		kg/百万	0.47	0.44				
	サービス業 (町田市公共施設内業務)	58.08	目標値	57.50 以下	56.92 以下	56.34 以下	55.76 以下	55.18 以下
		実績値	142.48	53.04				
		kg/百万	0.21	0.08				

【2010年度結果】目標は達成できていないが、今年度B4用紙使用の書類をA4用紙に切り換える取組を実施。新業務(一般家庭ごみ収集業務)が増えた中で、売上高当たりでは前年度同等の実績値となった。

5. グリーン購入の目標

今期よりグリーン購入法特定調達品目に基づき、購入する事務用品のグリーン購入を推進し、2012年3月末までに、購入の30%以上を目標とする。また、その他の購入品についても可能な限り、グリーン購入を推進する。

区分	項目	2010年度	2011年度	2012年度
グリーン購入の目標	目標値	20% 以上	25% 以上	30% 以上
	実績値	44%		

【2010年度結果】目標を大きく上回る成果をあげた。

6. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する環境配慮の目標

- ① エコドライブを励行する
- ② バキューム車輻脱臭装置の脱臭剤交換周期を月1回(ただし6月～9月は、外気温が高く臭気発生が多いことが予想されるため、月2回とする)と決め、確実に実施し、悪臭発生を防止する。
- ③ 社屋周辺の清掃

※化学物質使用量の管理及び生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組については、該当事項なし。

11) 活動写真

【エコドライブのすすめ】

毎朝出発前に、このシートを確認して、エコドライブの意識を高めています。

1	ふんわりアクセル (最初の5秒で時速20キロが目安、11%程度燃費が改善)
2	加減速の少ない運転 (同じ速度であれば、高めのギアで走行の方が燃費向上)
3	早めのアクセルオフ (エンジブレーキを使うと、燃料カットで、2%程度燃費が改善)
4	エアコンの使用を控えめに (外気温25℃の時にエアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化)
5	アイドリングストップ (10分間のアイドリングで、130cc程度の燃料を浪費)
6	暖機運転は適切に (5分間暖機すると、160cc程度の燃料を浪費)
7	タイヤの空気圧を適正に (適正値0.5kg/cm ² 不足で市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費悪)
8	綿密な計画で作業時間の効率アップ (作業効率をあげれば時間と燃料の節約)

この車輛の適正な空気圧	エンジンオイル交換時期
前輪 5.00 kg	走行距離 2,000km 間隔
後輪 6.00 kg	(満たない場合 1年に1回)

【節電の徹底】

エアコンスイッチに冷暖房設定温度を表示し、節電の意識を高めています。



【節水の徹底】

節水グッズをセットしたことで、水道使用量の削減に大きな成果ができました。



【用紙の分別】

用紙の分別回収ボックスを設置したことで、用紙裏面使用が徹底できました。



【近隣地域コミュニケーション】

社屋周辺の歩道や駐車場周辺の清掃をこまめに行い、近隣住民の方々に迷惑をかけないように心がけています。夏は周辺草むしりも積極的に行い、近隣美化に努めています。



12)2010年4月～2011年3月環境活動計画

【廃棄物収集運搬部門】 対象：収運業務部(業務一課・二課)、環境整備部収集課

環境活動計画		担当者	担当者の取組判定						環境活動結果評価(担当者評価コメント)		
			4月～6月	管理責任者	7月～9月	管理責任者	10月～12月	管理責任者		1月～3月	管理責任者
車輦燃料の管理	C02削減のためエコドライブを実践する	千葉村松	△2.65p	✓	△2.73p	✓	○2.83p	✓	△2.74p	✓	7ヶ月空圧管理が全般にやや劣る。
	車輦オイルの交換を適切な周期で行ない、車輦を整備する		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。
	車輦燃料供給施設の適切な使用と管理で漏洩等の事故防止		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	漏洩等もなく適正管理ができた。
	車輦の燃費グラフを作成し、車輦毎の燃費を監視する		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	車輦燃費データの活用までには、まだ至らない。
	バキューム車脱臭装置の脱臭剤交換周期を月1回(6月～9月は月2回)を確実に実施する		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	脱臭剤交換が決められた周期で実施されていた。
廃棄物の管理	排出事業者に対して適正処理及び分別について啓発する		○3.00p	✓	○2.81p	✓	○2.93p	✓	○2.89p	✓	廃プラスチック類のリサイクルを実施していない契約者にリサイクルの実施を働きかけた。
	紙類・ビン・缶・ペットボトル等の分別により、自社発生廃棄物のリサイクル促進を図る		○2.97p	✓	○2.95p	✓	○3.00p	✓	○2.97p	✓	徹底されている。
	環境保全のため、車庫の内外を整理整頓し、清潔に保つ		△2.73p	✓	△2.59p	✓	○2.81p	✓	○2.84p	✓	意識の低下を指導した結果、その成果がでた。
環境法規制の遵守	洗車場排水ピットのストレーナーの点検清掃を徹底し、流出防止に努める		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	毎日清掃を行い異物の流出防止に努めた。
	法規制および契約事項の遵守		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	違反・訴訟なし
電力消費量の削減	エアコン温度設定(冷房28℃暖房21℃)を守る	△2.50p	✓	○2.85p	✓	○2.78p	✓	○3.00p	✓	適正管理ができています。	
	空調フィルターの定期的(月1回)清掃を行い、エネルギー損失を防ぐ	○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	夏季、冬季こまめに清掃されている。	
	昼休み、残業時などの不要な照明を消灯する	○2.82p	✓	○2.82p	✓	○2.97p	✓	○2.92p	✓	昼休み食堂の照明を消灯した。	
灯油・ガス消費量の削減	給湯器使用後は停止し、ガス節約に努める	○2.89p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	冬季も給湯器の使用を極力控えガス節約に努めていた。	
	必要な時間に限定した暖房の運転に努め、室温2℃設定を守る	○2.87p	✓	○2.87p	✓	○2.94p	✓	○3.00p	✓	適正管理ができています。	
節水の推進	洗濯は節水タイマーを活用し、手洗い・洗物においても節水を励行する	○2.84p	✓	○2.97p	✓	○2.97p	✓	○2.92p	✓	節水タイマーの活用が徹底され成果がでた。	
	社用車の洗車を必要最小限にとどめ、洗車時は節水を励行する	△2.58p	✓	○2.89p	✓	○2.93p	✓	○2.93p	✓	節水を心がけ車輦の清掃にあたった。	

【建設業・清掃業部門】 対象：環境整備部工事課、水理管理部水理課

車輦燃料の管理	C02削減のためエコドライブを実践する	大友貴名	○2.82p	✓	△2.64p	✓	○2.78p	✓	△2.72p	✓	7ヶ月空圧管理が全般にやや劣る。
	車輦オイルの交換を適切な周期で行ない、車輦を整備する		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。
	車輦燃料供給施設の適切な使用と管理で漏洩等の事故防止		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	漏洩等もなく適正管理ができた。
廃棄物再利用の促進	建設業における工事副産物のリサイクル化のため、委託先の処理内容をチェックする		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	廃棄物を適正処理する業者を選定している。
清掃業の排水管理	効率の良い作業手順で、無駄な使用水を削減する		△	✓	△	✓	○	✓	○	✓	下水処理場ろ過水の利用等、上水の使用を極力控え業務にあたった。
環境法規制の遵守	法規制および契約事項の遵守		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	違反・訴訟なし
電力消費量の削減	エアコン温度設定(冷房28℃暖房21℃)を守る		△2.48p	✓	△2.71p	✓	○2.86p	✓	○2.86p	✓	クールビズで猛暑も冷房28℃設定でクリアできた。
	空調フィルターの定期的(月1回)清掃を行い、エネルギー損失を防ぐ		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	夏季、冬季こまめに清掃されている。
	昼休み、残業時などの不要な照明を消灯する		○2.76p	✓	○2.81p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	昼休みは事務室、他すべての部屋の照明を消灯した。
	パソコン、コピー機の省エネOFFタイマー設定をする		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。
	エレベーターの使用は極力控えることにより、消費電力を削減する	○3.00p	✓	○2.81p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	エレベーターの使用は、ほとんど見受けられなかった。	
灯油・ガス消費量の削減	退社時OA機器の電源を切る	○2.95p	✓	○2.95p	✓	○2.95p	✓	○2.95p	✓	徹底されている。	
	給湯器使用後は停止し、ガス節約に努める	○3.00p	✓	○2.90p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	ガス節約に努めていた。	
節水の推進	洗濯は節水タイマーを活用し節水を励行する	○2.90p	✓	○2.90p	✓	○3.00p	✓	○2.85p	✓	節水タイマーの活用が徹底され成果がでた。	
	定期的な水道メーターチェック(週1回)により、漏水を早期に見出す	○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。	

【サービス業部門】 対象：下水道施設部、水理管理部水理課(リサイクルセンター)

車輻燃料消費の削減	C02削減のためエコドライブを実践する	高野 永田 由良 佐藤	○2.86p	✓	○2.87p	✓	○2.83p	✓	○2.86p	✓	7/付空気圧管理が全般にやや劣る。
	車輻オイルの交換を適切な周期で行ない、車輻を整備する		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。
環境法規制の遵守	法規制および契約事項の遵守		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	違反・訴訟なし
電力消費量の削減	エアコン温度設定(冷房28℃暖房21℃)を守る		○2.79p	✓	○2.78p	✓	○2.86p	✓	○2.86p	✓	適正管理ができています。
	空調フィルターの定期的(月1回)清掃を行い、エネルギー損失を防ぐ		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。
	昼休み、残業時などの不要な照明を消灯する		○2.92p	✓	○2.97p	✓	○2.96p	✓	○2.98p	✓	適正管理ができています。
	パソコン、コピー機の省エネOFFタイマー設定をする		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。
	エレベーターの使用は極力控えることにより、消費電力を削減する		○3.00p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	エレベーターの使用は控えている。
	退社時OA機器の電源を切る		○2.89p	✓	○2.89p	✓	○2.92p	✓	○2.92p	✓	徹底されている。
灯油・ガス消費量の削減	給湯器使用後は停止し、ガス節約に努める		○2.92p	✓	○3.00p	✓	○3.00p	✓	○2.98p	✓	ガス節約に努めていた。
節水の推進	定期的な水道メーターチェック(毎日)により、漏水を早期に発見する	○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	適正管理ができています。	

【その他共通の取組】

その他 オフィス等における取組	使用済み用紙の裏面の活用をする	平 斉 藤	○2.87p	✓	○2.87p	✓	○2.85p	✓	○2.79p	✓	徹底されている。
	決裁書や報告書の複写の保存を最小限に抑える		△2.71p	✓	△2.73p	✓	○2.75p	✓	○2.80p	✓	まだ工夫の余地がある。
	リサイクル促進と節電のため、シュレッダーは機密書類に限定する		○2.91p	✓	○2.93p	✓	○2.89p	✓	○2.98p	✓	徹底されている。
	無駄な印刷をしない、印刷ミスゼロに努める		△2.67p	✓	△2.56p	✓	△2.62p	✓	△2.68p	✓	若干の取組意識を求める。
	近隣地域ボランティア活動を推進する		△	✓	△	✓	△	✓	△	✓	近隣清掃以外にもボランティア活動を推進していきたい。
	環境配慮のため、グリーン購入ガイド等を参照し、グリーン購入を推進する		○	✓	○	✓	○	✓	○	✓	取組初年度としては成果を出せた。

判定目安：○確実に実行している(個人評価平均2.75p以上) △ほぼ実行している(個人評価平均2.74p～2p) ×あまり実行されていない(個人評価平均2p未満)

13)代表者による全体の評価・見直し

作成日	平成23年5月10日
作成者	田中

見直し項目	見直し資料	環境管理責任者コメント	経営者による評価及び見直しの決定
① 環境目標の達成状況	環境活動実績記録	<p>【二酸化炭素総排出量の削減】 二酸化炭素排出量合計は、昨年度比(25.9%)増となったが、今年度より廃棄物収集運搬部門で可燃ごみ戸別収集業務が増えたことによるものである。廃棄物収集運搬部門は、昨年度比(+38.8%)増となったが、新規業務を除いた値では(-8.2%)であった。建設業清掃部門は(-16.7%)、サービス業は(-0.14%)の成果を出した。車両燃料消費量は廃棄物収集運搬部門(ガソリン+2461ℓ、軽油+27256ℓ)、建設業清掃部門(ガソリン+2546ℓ、軽油+1239ℓ)、サービス業(ガソリン+94ℓ、軽油+116ℓ)であった。電力消費量は昨年度比+4171kw(+6.8%)、灯油消費量は+71.5ℓ(+4.9%)となり、新規業務に伴う12名増員に起因する増加分と判定する。</p> <p>【自社発生廃棄物の排出量の削減】 自社発生廃棄物の排出量は昨年度7.66tに対し、今年度は9.12tで増加したが、12名増員によることから、一人当たりに換算すると昨年度0.23t/人に対し、今年度は一人当たり0.20t/人と減少している。社内での紙類・ビン・缶・ペットボトル等分別の取組も浸透している。</p> <p>【総排水量の削減】 総排水量は1625ℓで目標の1682ℓをクリアした。12名増員によることから、一人当たりに換算しても昨年度49.82㎡/人に対し、今年度は一人当たり35.34㎡/人であり、節水意識が浸透したと言える。</p> <p>【コピー用紙使用量の削減】 コピー用紙使用量は昨年度比(+0.6%)増だが、今年度から新規業務が増えたことを考慮すれば、取組の成果は出ていると判定する。今年度B4用紙使用の書類をA4用紙に切り換えた。ただし、個人情報保護のためシュレッターにかける割合が多くなり、用紙の裏面使用に制限が掛かったことから、環境目標との比較では12.2%増となっている。</p> <p>【グリーン購入】 購入する事務用品のグリーン購入を推進した結果、目標20%以上(購入品のうちグリーン商品の割合)としてきた結果、今年度44%実績となり、グリーン購入取組初年度としては、大きな成果をあげた。</p>	<p>・東日本大震災の影響で、電気の供給能力が不足することから、節電計画を立て、徹底した節電の取組を重視する必要がある。</p> <p>・社内での紙類・ビン・缶・ペットボトル等、徹底した分別の取組を評価する。今後もルールを守り実施していくこと。</p> <p>・グリーン購入取組初年度の成果を評価する。今後も引き続き環境負荷の低減に向け、取組を強化すること。</p>
② 環境活動計画取組の達成状況	環境活動計画と評価 環境活動取組度評価票	<p>【効果的だった取組】 ・車輛燃料供給施設の適切な使用と管理の一環で、給油施設の取扱マニュアルの作成と注意事項の掲示がされた。 ・社用車の洗車を必要最小限にとどめ、洗車時節水の励行で、成果を出した。 ・B4用紙使用の書類をA4用紙に切り換えた。</p> <p>【課題の残った取組】 ・決裁書や報告書に unnecessary な複写をなくす取組。</p>	<p> unnecessary な複写を無くすための工夫をすること。</p>
③ 環境関連法規制の遵守状況	環境関連法規制一覧表	<p>環境関連法規制の訴訟・違反はなし。</p>	
④ 緊急事態発生で取られた処置	緊急事態処置報告書 緊急事態訓練報告書	<p>【緊急事態処置報告書より】 緊急事態の発生はなし。 【緊急事態訓練報告書より】 平成23年2月25日に成瀬クリーンセンター場内において、空気呼吸器装着ならびに救助タンカによる被災者の救助訓練を実施した。</p>	<p>東日本大震災の教訓から災害時(地震、火災)の避難訓練等を計画し、実施する必要がある。</p>
⑤ 内部監査の結果	内部監査報告書	<p>今年度の内部監査においては、改善必要事項は特になし。 前年度の「代表者による全体の評価・見直し」での以下の改善事項については、それぞれ改善の傾向にある。 1)書類ついて、 unnecessary な複写を無くす。 2)水道使用量等が増加の傾向にある場合、速やかに対処できる体制を構築する</p>	
⑥ 是正処置の結果	是正計画・処置報告書	<p>10.19是正計画・処置報告書発行 上半期実績報告(4月～9月実績)より、電力消費量昨年度比較で+11.1%まで上昇している。猛暑により冷房稼働率が上がったと判断できるが、下半期に向け節電対策を図るための是正処置 1件</p>	<p>より一層の節電取組を期待する。</p>
⑦ 外部コミュニケーションからの情報	苦情・要望・評価等 受付票兼記録	<p>今回、苦情要望評価等の該当事項はなし</p>	
⑧ 改善のための提案	環境管理委員会議事録	<p>1)雨水貯留タンクの設置活用を推奨します。 2)同じ火力でも効率の良いガスコンロへの交換を推奨します。</p>	<p>改善の必要性 <input checked="" type="radio"/> 有・無</p> <p>提案事項は検討するが、当面は現在の取組の充実を図ること。 従業員の意識向上により、まだ成果を出せると判断するので、より一層の努力を期待する。また、以下の事項を次年度の活動に組入れること。 ①東日本大震災の影響で、電気の供給能力が不足することから、節電計画を立て、徹底した節電の取組を重視すること。 ② 東日本大震災の教訓から災害時(地震、火災)の避難訓練等を計画し、実施すること。</p>

代表取締役 中溝次郎

14) 是正計画・処置報告書

是正計画

作成日	平成22年10月19日
作成者	田中

経営者からの是正指示内容	2010. 10. 18提出された「2010年度環境活動上半期実績報告の件(4月～9月実績)」より、監視事項としていた電力消費量は、4月～6月の四半期では昨年比+4.6%であったが、今回上半期実績で+11.1%まで上昇している。猛暑により冷房稼働率が上がったと判断できるが、下半期に向け節電対策を図ること。
是正計画内容	調査の結果、環境活動計画にあげている①退社時OA機器の電源を切る②必要な区域・時間に限定した冷暖房の運転等の取組は守られていますが、新規業務の可燃ごみ収集において残業が昨年度より増えていることから、電力消費量の増加につながったと判断します。昼休みを含め残業時などの不要な照明の消灯の徹底を図ります。
是正予定期限	調査実施期間:平成22年10月25日まで 是正開始予定:平成22年10月26日より

是正報告

作成日	平成23年1月25日
作成者	田中

是正実施報告	本社朝礼において、環境活動の経過を発表するとともに、上記の是正計画内容を伝達し、意識の向上を図った。
是正内容の確認 (効果の確認含む)	上半期実績前年度比+11.1%が、今回(4月～12月)の結果では、前年度比+8.1%まで下降しているため、引続き現況を周知し電力消費量削減に努めます。
経営者のコメント	冬季は無駄な暖房運転に注意し、3月末まで電力消費量削減の意識が薄れることの無いよう監視すること。

代表取締役

中溝次郎

15) 環境関連法規への違反訴訟等の有無

2010年度(2010年4月～2011年3月)環境関連法規制の遵法状況をチェックした結果、違反はありませんでした。また、過去3年間訴訟及び官公庁等関係当局からの違反等の指摘はありませんでした。